

防火窓G シリーズ

アルミ樹脂複合／アルミ複層



耐熱強化複層ガラス仕様 掲載版

耐熱強化複層ガラス(透明)を採用した、
『防火窓』の新常識

これからの
防火窓(透明ガラス)...

これまでの
防火窓(透明ガラス)...

「防火窓G シリーズ」アルミ樹脂複合タイプ／アルミ複層タイプに、“耐熱強化複層ガラス仕様(透明)”が新登場。網なしガラスの効果でクリアな眺望性が楽しめ、さらに、網入ガラス仕様の防火窓と比較して軽いので、開閉がしやすく、施工・搬入時の負担も軽減します。

網なしガラスでスッキリ!

網入ガラスの防火窓と比較して、圧倒的にクリアな視界を実現。特に、ワイドサイズの引違い窓(テラス)で開放感が違います。

「クリアネット」網戸でもっとスッキリ!

窓でクリアな視界を実現したら、網戸もスッキリ。「クリアネット」網戸ならネットの線径が細いので、さらに眺望性がアップします。



軽くて扱いやすい防火窓!

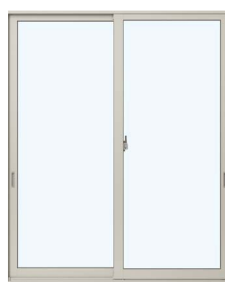
防火窓(網入)と比較して、最大約15%※も軽量化。開閉がしやすく、施工・搬入時の負担も軽減します。

※引違い(16513サイズ)障子での比較

■ ラインアップ(耐熱強化複層ガラス仕様) ※「防火窓G シリーズ」アルミ樹脂複合／アルミ複層 共通



引違い窓 窓タイプ



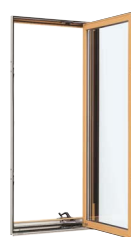
引違い窓 テラスタイプ



片上げ下げ窓



FIX窓



たてすべり出し窓
(オペレーターハンドル仕様)

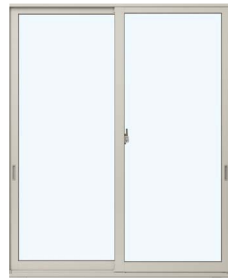


すべり出し窓
(オペレーターハンドル仕様)

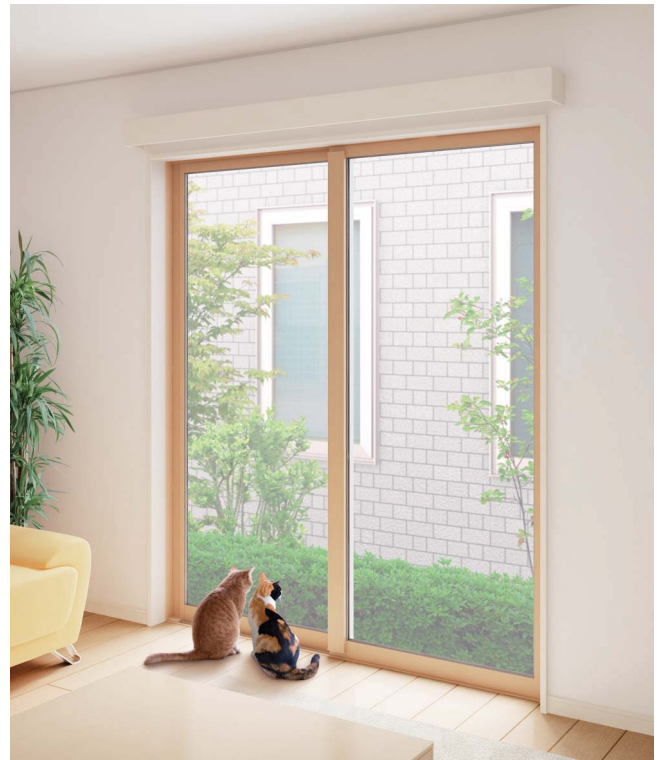
おすすめキーワードは…

“クリアビュー”

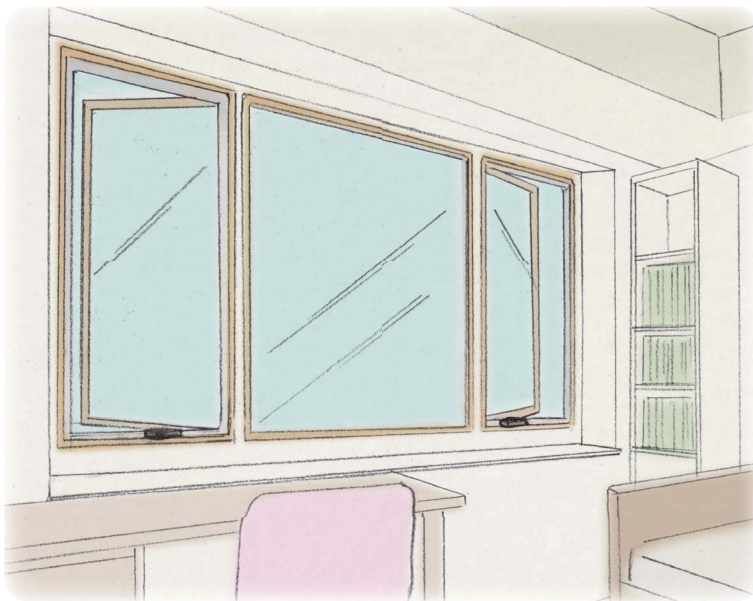
「防火窓G シリーズ」耐熱強化複層ガラス仕様なら、網なし透明ガラスの効果で、窓からのクリアな眺望が楽しめます。



引違い窓 テラスタイプ



こんな空間に特におすすめ



『子ども部屋』

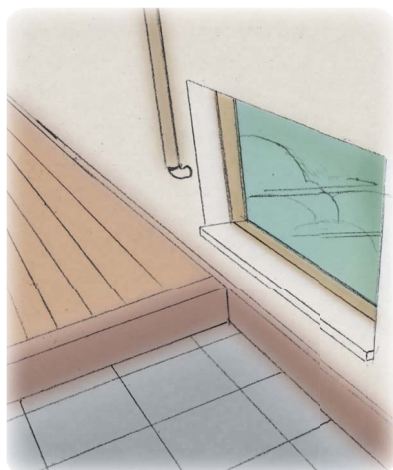
好奇心旺盛なお子さんは外を眺めるのが好きなもの。窓から見えるきれいな青空で、きっと勉強もはかどる…はず？



たてすべり出し窓
(オペレーターハンドル仕様)

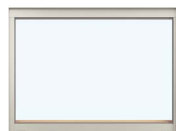


FIX窓

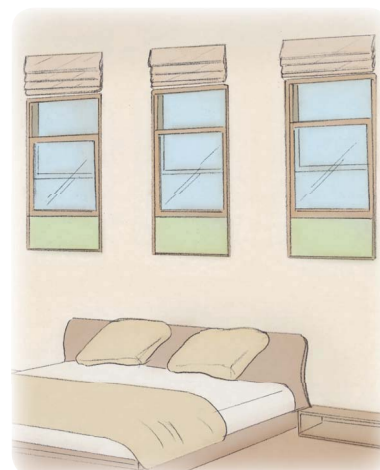


『玄関』

玄関すぐの地窓から見える心が和むきれいな植栽。せっかくの眺めに透明ガラスの網は似合いません。



FIX窓



『寝室』

晴れた日の朝、シェードを開けた窓から見えるすっきりとした外の景色。そこから、気持ちのいい一日が始まります。



片上げ下げ窓

窓の構成プランの工夫で、 防火地域の住宅スタイルに多彩なバリエーションを!

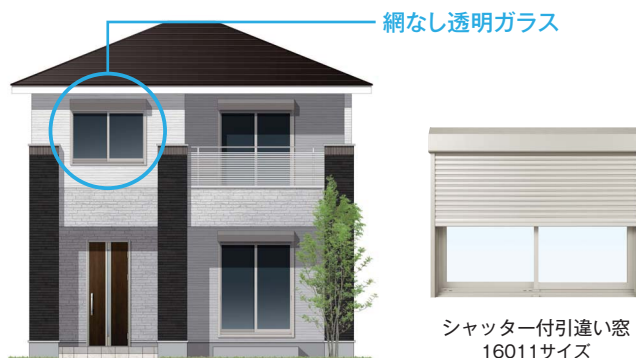
防火地域で一般的に多く見られる、防火窓「シャッター付引違い窓」。比較的、値ごろ感もあり、網なしガラスで眺望性が高いことで人気の窓種ですが、住宅スタイルに個性が出しづらくなる一面も。

「防火窓G シリーズ」耐熱強化複層ガラス仕様なら、ガラスに網がないので、眺望性の良さはそのままに、開き窓やFIX窓などを使った多彩なコーディネートが楽しめ、住宅スタイルの幅が大きく広がります。

◎窓の構成プラン変更例(2階居室のみ)

モデルプラン① シャッター付引違い窓(1セット)

比較的、オーソドックスな窓の構成プラン



モデルプラン② たてすべり出し窓(2セット)

ウインドキャッチ効果で、爽やかな風を取込み、効果的な通風・換気が可能になります。



モデルプラン③ たてすべり出し窓(2セット)+FIX窓(1セット)

たてすべり出し窓の間にFIX窓を並べて、住宅スタイルの特徴的なアクセントに。

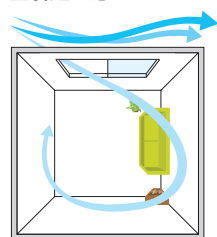


■ たてすべり出し窓で『ウインドキャッチ』

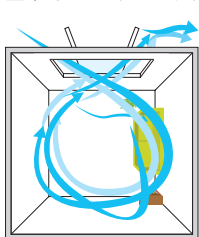
おだやかな季節には、風を取入れ心地よく

吊り元(左右)を変えた「たてすべり出し窓」を並べることで、より効果的に風を室内に取込めます。

■引違い窓



■ウインドキャッチ連窓



換気量:
約22倍
体感温度差*:
約1.4°C

イラストはイメージです。

○条件

使用ソフト:FlowDesigner10.0、風速:1[m/s]、
風向:窓面に対して水平、窓:16511サイズ、部屋:5m×5m×2.5m
※室内の平均風速からリンケ体感温度の式で算出

■ モデルプラン①~③の価格比一覧

(変更した窓種のみ比較)

価格比	プラン① シャッター付 引違い窓 16011 (1セット)	プラン② たてすべり 出し窓 06011 (2セット)	プラン③ たてすべり 出し窓 03611 (2セット) FIX窓 03611 (1セット)
アルミ複層	100	86	96

※「防火窓G シリーズ」アルミ複層タイプの場合。

※プラン①はLow-E複層ガラス(透明)、プラン②③は耐熱強化複層ガラス(Low-E)。

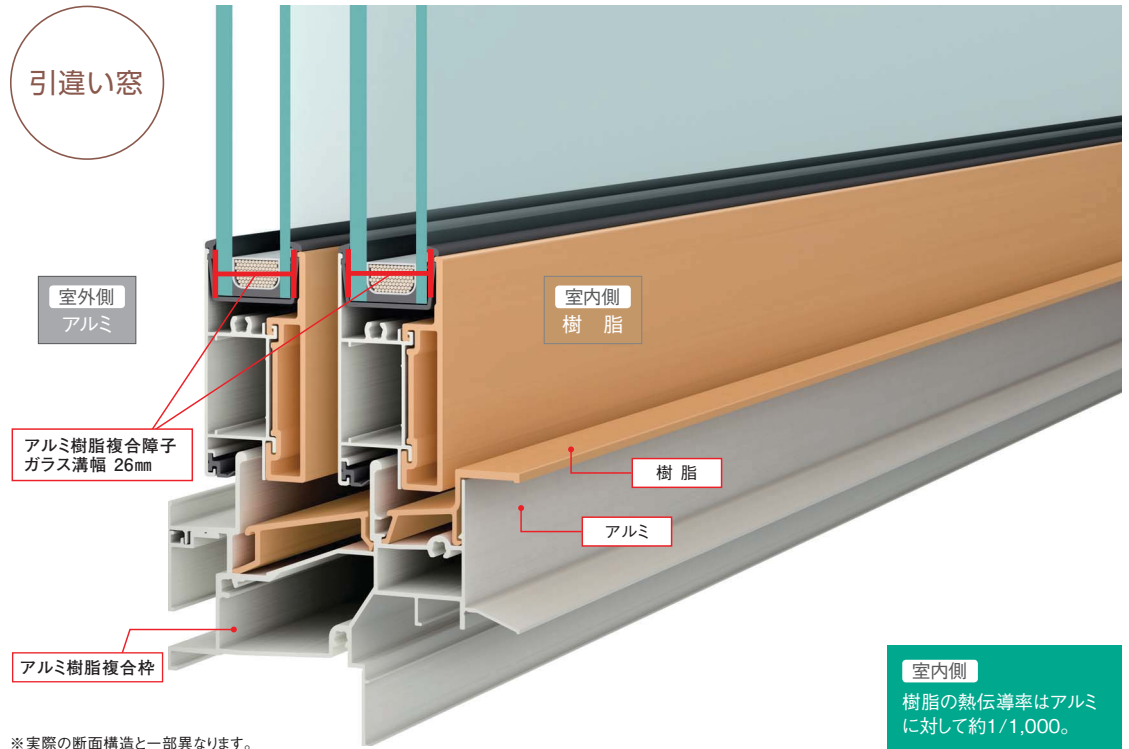
※価格はエンドユーザー向け参考価格(Low-Eガラス入り完成品)。

現場搬入費、取付費等は含まれていません。

基本性能 ※一部窓種を除きます。

アルミ樹脂複合

アルミと樹脂の複合構造を採用し、高い断熱性能を発揮します。



[断熱性能]

【平成28年省エネルギー基準】
建具とガラスの組合せによる熱貫流率および日射熱取得率※1

建具の仕様	ガラスの仕様	日射熱取得率						熱貫流率 W/(m ² ·K)
		ガラスのみ		紙障子		外付けブラインド		
		日射取得型	日射遮蔽型	日射取得型	日射遮蔽型	日射取得型	日射遮蔽型	
木と金属の複合材料製建具 又は樹脂と金属の複合材料 製建具	Low-E 複層(A10以上)	0.51	0.32	0.30	0.21	0.12	0.09	2.33
	Low-E 複層(G8以上G16未満)							

※1：国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」による。
●【平成28年省エネルギー基準】では、上記の数値を用いた適合評価が必要です。
●一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

[耐風圧性能]

■ JIS等級 S-3

3階建ての建物や、最大瞬間風速51m/sの強風に耐えることのできる性能を実現しています。

[気密性能]

■ JIS等級 A-4

外気の流入を防止して高い気密性を発揮するエアタイト構造を採用しています。

[水密性能]

■ JIS等級 W-4

1時間当たり240mmの降雨時に、風速16～29m/s程度の風が吹いても、屋内への雨水浸入を防ぎます。

[遮音性能]

住宅性能表示 音環境
透過損失等級（外壁開口部）**等級3**

※住宅型式性能認定による。

室外からの騒音を軽減し、室内の音漏れを抑えます。
等級3の窓では、30dBの音を遮る性能を持っています。

[防火性能]

遮炎性能を有する防火設備
（遮炎時間20分間）

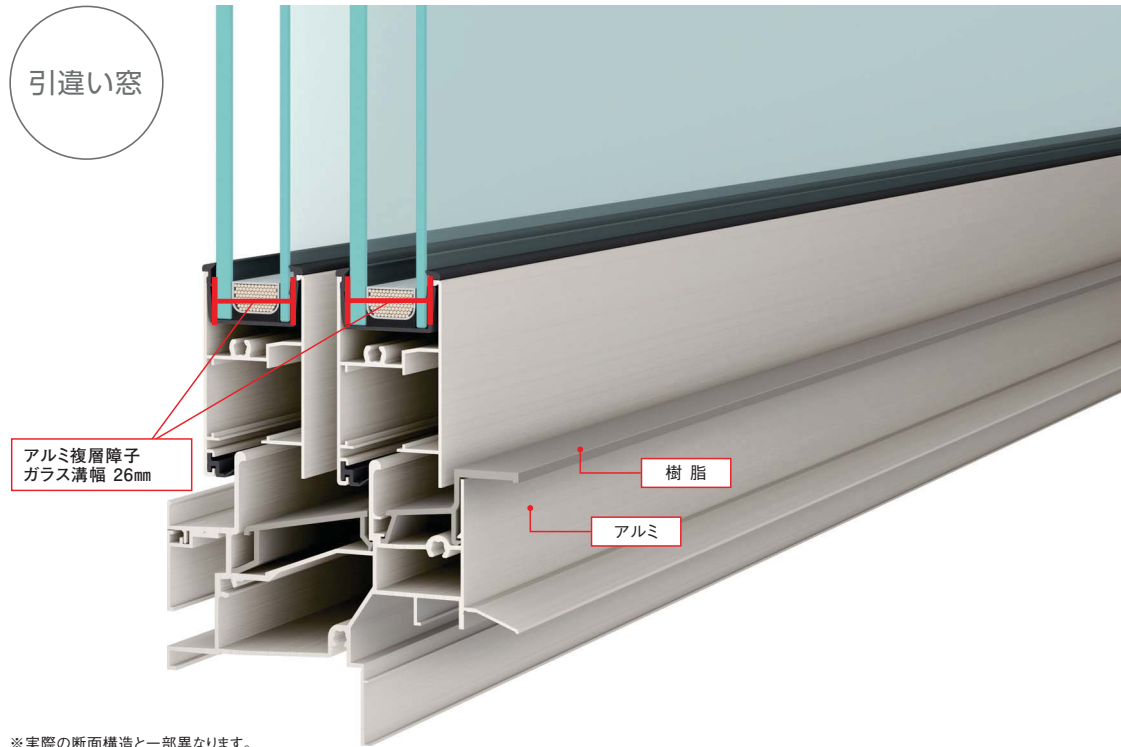
※建築基準法第2条九号の二/口。

火災時の類焼防止目的に「防火地域」「準防火地域」が定められ、設置場所により防火設備の使用が義務付けられています。

※構造断面図は説明用のイラストです。
 ※一部機種、サイズで下記性能に該当しない場合があります。
 ※詳細は各窓種のページをご確認ください。

アルミ複層

十分な基本性能を確保し、住まい全体の快適性を支えます。



※実際の断面構造と一部異なります。

【断熱性能】

【平成28年省エネルギー基準】

建具とガラスの組合せによる熱貫流率および日射熱取得率※1

建具の仕様	ガラスの仕様	日射熱取得率						熱貫流率 W/(m ² ·K)
		ガラスのみ		紙障子		外付けブラインド		
		日射取得型	日射遮蔽型	日射取得型	日射遮蔽型	日射取得型	日射遮蔽型	
金属製建具	Low-E 複層(A10以上)	0.51	0.32	0.30	0.21	0.12	0.09	3.49
	Low-E 複層(G8以上)							

※1：国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」による。

●【平成28年省エネルギー基準】では、上記の数値を用いた適合評価が必要です。

●一部機種・サイズで上記性能に該当しない場合があります。

【耐風圧性能】

■ JIS等級 S-3 ■

3階建ての建物や、最大瞬間風速51m/sの強風に耐えることのできる性能を実現しています。

【気密性能】

■ JIS等級 A-4 ■

外気の流入を防止して高い気密性を発揮するエアタイト構造を採用しています。

【水密性能】

■ JIS等級 W-4 ■

1時間当たり240mmの降雨時に、風速16～29m/s程度の風が吹いても、屋内への雨水浸入を防ぎます。

【遮音性能】

住宅性能表示 音環境
 透過損失等級（外壁開口部）等級2

室外からの騒音を軽減し、室内の音漏れを抑えます。
 等級2の窓では、25dBの音を遮る性能を持っています。

※試験結果による。

【防火性能】

遮炎性能を有する防火設備
 （遮炎時間20分間）

火災時の類焼防止目的に「防火地域」「準防火地域」が定められ、設置場所により防火設備の使用が義務付けられています。

※建築基準法第2条九号のニ/ロ。

商品ラインアップ

アルミ樹脂複合

耐熱強化複層ガラス仕様(透明)

NEW

窓種	引違い窓		片上げ下げ窓	FIX窓 (押縁仕様)	たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	すべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)
	窓タイプ	窓タイプ	テラスタイプ			
ガラス種	耐熱強化5ミリ+ A14ミリ+Low-E3ミリ	耐熱強化6ミリ+ A12ミリ+Low-E4ミリ	耐熱強化5ミリ+ A13ミリ+Low-E4ミリ	耐熱強化5ミリ+A14ミリ+Low-E3ミリ		
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 2.33 [W/㎡・K] ※					

網入複層ガラス仕様(透明・型)



窓種	引違い窓		片上げ下げ窓	FIX窓 (押縁仕様)	たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	
	窓タイプ	窓タイプ	テラスタイプ			
	面格子付引違い窓		面格子付片上げ下げ窓		たてすべり出し窓 +FIX段窓	
ガラス種	網入6.8ミリ+ A12ミリ+Low-E3ミリ	網入6.8ミリ+ A11ミリ+Low-E4ミリ			網入6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ	
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 2.33 [W/㎡・K] ※					


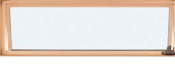




窓種	たてスリット		横スリット	
	たてスリットFIX窓	たてスリットすべり出し窓	横スリットFIX窓	横スリットすべり出し窓
	02120サイズ	02120サイズ	165023サイズ	165023サイズ
			026023サイズ	026023サイズ
ガラス種	網入6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ			
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 2.33 [W/㎡・K] ※			

※【平成28年省エネルギー基準】建具とガラスの組合せによる熱貫流率。Low-E複層ガラス(中空層10ミリ以上)

国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

シャッター商品

窓種	シャッター付引違い窓 (リモコン電動/手動)	直付シャッター/壁付シャッター
	 <p>W9R</p>	
ガラス種	Low-E複層ガラス/複層ガラス	—
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 2.33 [W/m ² ·K] ※ (Low-E複層ガラス)	—

すべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	高所用すべり出し窓	内倒し窓	外倒し窓 (排煙錠仕様)	勝手口ドア (上げ下げ通風仕様)	開き窓テラス (標準仕様/2 シリンダー仕様)
	 <p>NEW</p>	 <p>面格子付内倒し窓</p>		<p>2017年夏 仕様変更予定</p> 	

ご注意





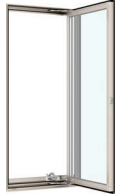

- ・「耐熱強化複層ガラス仕様」は防火窓Gシリーズ専用ガラスのみの対応となります(防火窓Gシリーズ専用品以外のガラスは使用できません)。
- ・「耐熱強化複層ガラス仕様」は透明ガラスのみです(型板ガラスの設定はありません)。
- ・耐熱強化複層ガラスは、熱処理の影響により、通常の板ガラスと比較し、反射像のゆがみが大きくなります。
- ・商品の特性上、結露水などにより窓の表面に白い結晶が発生する場合があります。この白い結晶は無害であり水拭きで拭き取ることで除去できます。
- ・遮炎性能を有する防火設備(遮炎時間20分間)の国土交通大臣認定品となります。
- ・認定番号はYKK APホームページの「ビジネスのお客様」向けサイトにてご確認ください。
<http://www.ykkap.co.jp/proscene/bizdata/fireproof>
- ・シャッター付引違い窓はシャッター側で防火対応しています。障子についてはアルミ樹脂複合は「エピソード」用障子、ガラスは一般品となります。断熱性能表記はLow-E複層ガラス使用時のものとなります。

商品ラインアップ






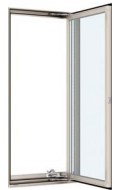

アルミ複層







耐熱強化複層ガラス仕様(透明)

NEW

窓種	引違い窓		片上げ下げ窓	FIX窓 (押縁仕様)	たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	すべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)
	 窓タイプ  テラスタイプ	 片上げ下げ窓	 FIX窓 (押縁仕様)	 たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	 すべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	
ガラス種	耐熱強化5ミリ+ A14ミリ+Low-E3ミリ	耐熱強化6ミリ+ A12ミリ+Low-E4ミリ	耐熱強化5ミリ+ A12ミリ+Low-E5ミリ	耐熱強化5ミリ+A14ミリ+Low-E3ミリ		
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 3.49 [W/㎡・K] ※					

網入複層ガラス仕様(透明・型)




窓種	引違い窓		片上げ下げ窓	FIX窓 (押縁仕様)	たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	たてすべり出し窓 +FIX段窓
	 窓タイプ  面格子付引違い窓	 テラスタイプ	 面格子付片上げ下げ窓	 FIX窓 (押縁仕様)	 たてすべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	 たてすべり出し窓 +FIX段窓
ガラス種	網入6.8ミリ+ A12ミリ+Low-E3ミリ	網入6.8ミリ+ A11ミリ+Low-E4ミリ		網入6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ		
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 3.49 [W/㎡・K] ※					

窓種	たてスリット		横スリット	
	たてスリットFIX窓	たてスリットすべり出し窓	横スリットFIX窓	横スリットすべり出し窓
 02120サイズ	 02120サイズ	 165023サイズ  026023サイズ	 165023サイズ  026023サイズ	
ガラス種	網入6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ			
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 3.49 [W/㎡・K] ※			

※【平成28年省エネルギー基準】建具とガラスの組合せによる熱貫流率。Low-E複層ガラス(中空層10ミリ以上)

国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

シャッター商品

窓種	シャッター付引違い窓 (リモコン電動/手動)		直付シャッター/壁付シャッター
	26mm溝幅仕様	20mm溝幅仕様	
	 W9R	 W9R	
ガラス種	Low-E複層ガラス/複層ガラス		—
断熱性能 H28年省エネルギー基準	熱貫流率 3.49[W/m ² ·K] ※(Low-E複層ガラス)		—

すべり出し窓 (オペレーターハンドル仕様)	高所用すべり出し窓	内倒し窓	勝手口ドア (上げ下げ通風仕様)	開き窓テラス (標準仕様/2シリンダー仕様)	フロア納まり片引き戸
	 NEW	 面格子付内倒し窓 	 2017年夏 仕様変更予定	 2017年夏 仕様変更予定	 2017年夏 仕様変更予定

ご注意

- ・「耐熱強化複層ガラス仕様」は防火窓Gシリーズ専用ガラスのみの対応となります(防火窓Gシリーズ専用品以外のガラスは使用できません)。
- ・「耐熱強化複層ガラス仕様」は透明ガラスのみです(型板ガラスの設定はありません)。
- ・耐熱強化複層ガラスは、熱処理の影響により、通常の板ガラスと比較し、反射像のゆがみが大きくなります。
- ・商品の特性上、結露水などにより窓の表面に白い結晶が発生する場合があります。この白い結晶は無害であり水拭きで拭き取ることで除去できます。
- ・遮炎性能を有する防火設備(遮炎時間20分間)の国土交通大臣認定品となります。
- ・認定番号はYKK APホームページの「ビジネスのお客様」向けサイトにてご確認ください。
<http://www.ykkap.co.jp/proscene/bizdata/fireproof>
- ・シャッター付引違い窓はシャッター側で防火対応しています。障子についてはアルミ複層の26mm溝幅仕様は「エイピア J」用障子、20mm溝幅仕様は「フレミング J」用障子、ガラスは一般品となります。断熱性能表記はLow-E複層ガラス使用時のものとなります。

ガラス性能について

ガラス一覧

■ガラスの構成 (シャッター付引違い窓を除く)

ガラス種類	Low-E複層ガラス		ガラス種類	ガラス種類	
	室外	室内		Low-E複層ガラス	ブルー／ブロンズ／ニュートラル
防火仕様(専用品)	耐熱強化透明		Low-E複層ガラス	耐熱強化透明	耐熱強化透明5ミリ+A14ミリ+Low-E3ミリ
	網入透明			耐熱強化透明	耐熱強化透明5ミリ+A13ミリ+Low-E4ミリ
	網入型			耐熱強化透明	耐熱強化透明5ミリ+A12ミリ+Low-E5ミリ
				耐熱強化透明	耐熱強化透明6ミリ+A12ミリ+Low-E4ミリ
				網入透明	網入透明6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ
				網入透明	網入透明6.8ミリ+A11ミリ+Low-E4ミリ
				網入型	網入型6.8ミリ+A12ミリ+Low-E3ミリ
				網入型	網入型6.8ミリ+A11ミリ+Low-E4ミリ

- ガラスの中空層指定は対応できません。
- 網入ガラスは菱ワイヤーのみとなります(クロスワイヤーの設定はありません)。
- 「耐熱強化複層ガラス仕様」は防火窓Gシリーズ専用ガラスのみの対応となります(防火窓Gシリーズ専用品以外のガラスは使用できません)。
- 「耐熱強化複層ガラス仕様」は透明ガラスのみです(型板ガラスの設定はありません)。
- 耐熱強化複層ガラスは、熱処理の影響により、通常の板ガラスと比較し、反射像のゆがみが大きくなります。

Low-E複層ガラスにはガス入／ガス無の設定があります。本カタログに掲載している情報は、ガス無の場合です。

ガラスカラー



耐熱強化複層
ガラス仕様(透明)



網入複層
ガラス仕様(透明・型)



ブルー



反射



透過

ブロンズ



反射



透過

ニュートラル



反射



透過



ブルー



反射



透過

ブロンズ



反射



透過

ニュートラル



反射



透過

- Low-E複層ガラスは透過光と反射光で色調が異なって見える場合もありますので、ご了承ください。
- 商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なります。ご注文の際はカラーサンプルでご確認ください。

ガラス性能一覧(シャッター付引違い窓を除く)

	室外側 ガラス (ミリ)	中空層 (ミリ)	室内側 ガラス (ミリ)	YKK AP ガラス コード	光学特性					熱的性能						
					可視光※1		日射※1			紫外線 カット率 (%)	日射熱取得率 (η値)※1		遮蔽係数 (SC値)		熱貫流率(U値) [W/(㎡・K)]※2	
					透過率 (%)	反射率 (%)	透過率 (%)	反射率 (%)	吸収率 (%)		空気	アルゴン ガス	空気	アルゴン ガス	空気	アルゴン ガス
Low-E 複層ガラス ブルー	網入透明6.8	12	Low-E 3	PHP3	56.1	19.9	33.0	32.3	34.7	80.7	0.42	0.42	0.48	0.47	1.6	1.3
	網入型6.8			KHP3	57.9	20.9	35.1	38.3	26.6	79.3	0.44	0.43	0.49	0.49		
	網入透明6.8	11	Low-E 4	PHP4	55.8	19.7	33.3	30.3	36.4	78.5	0.44	0.44	0.50	0.50	1.7	1.4
	網入型6.8			KHP4	57.6	20.6	35.5	35.8	28.7	77.0	0.46	0.46	0.52	0.52		
	耐熱強化5	14	Low-E 3	5CP3	61.1	21.8	36.8	40.1	23.1	77.4	0.45	0.45	0.51	0.51	1.5	1.2
				5CP4	60.8	21.5	37.2	37.4	25.4	74.8	0.48	0.48	0.55	0.55	1.6	1.3
		12	Low-E 5	5CP5	58.9	21.4	36.4	36.2	27.4	74.3	0.49	0.49	0.56	0.56	1.6	1.3
耐熱強化6	12	Low-E 4	6CP4	60.3	21.3	36.4	35.3	28.3	75.8	0.47	0.47	0.53	0.53	1.6	1.3	
Low-E 複層ガラス ブロンズ	網入透明6.8	12	Low-E 3	PHP3	59.0	20.1	33.4	33.2	33.4	61.1	0.41	0.41	0.46	0.46	1.6	1.3
	網入型6.8			KHP3	60.9	21.2	35.4	39.6	25.1	58.0	0.42	0.42	0.48	0.48		
	網入透明6.8	11	Low-E 4	PHP4	58.8	19.6	32.8	32.9	34.3	61.6	0.41	0.41	0.47	0.47	1.7	1.4
	網入型6.8			KHP4	60.7	20.6	34.7	39.1	26.1	58.6	0.43	0.43	0.48	0.48		
	耐熱強化5	14	Low-E 3	5CP3	64.3	22.1	37.1	41.4	21.5	53.9	0.44	0.44	0.50	0.50	1.5	1.2
				5CP4	64.1	21.5	36.5	40.9	22.6	54.6	0.44	0.44	0.50	0.50	1.6	1.3
		12	Low-E 5	5CP5	61.3	24.6	34.5	43.1	22.4	57.1	0.42	0.42	0.48	0.48	1.6	1.3
耐熱強化6	12	Low-E 4	6CP4	63.5	21.3	35.8	38.5	25.7	56.4	0.44	0.44	0.50	0.50	1.6	1.3	
Low-E 複層ガラス ニュートラル	網入透明6.8	12	Low-E 3	PHP3	69.5	11.7	45.0	21.6	33.4	74.1	0.55	0.55	0.62	0.62	1.7	1.4
	網入型6.8			KHP3	71.6	12.2	48.1	25.5	26.4	72.1	0.58	0.58	0.66	0.66		
	網入透明6.8	11	Low-E 4	PHP4	69.6	11.8	45.6	20.5	33.9	71.5	0.56	0.56	0.64	0.64	1.8	1.5
	網入型6.8			KHP4	71.7	12.3	48.8	24	27.2	69.5	0.59	0.59	0.67	0.68		
	耐熱強化5	14	Low-E 3	5CP3	75.7	12.1	50.4	26.2	23.4	69.6	0.60	0.60	0.68	0.68	1.6	1.3
				5CP4	75.8	12.2	51.1	24.7	24.2	66.7	0.62	0.62	0.70	0.70	1.6	1.3
		12	Low-E 5	5CP5	75.2	12.2	49.7	25.2	25.1	66.5	0.61	0.61	0.69	0.69	1.7	1.4
耐熱強化6	12	Low-E 4	6CP4	75.1	12.2	50.0	23.3	26.7	67.9	0.61	0.61	0.69	0.69	1.7	1.4	

●表中の光学特性値および熱的性能値は関連JISなどに基づき算出した値です(計算方法/※1:JIS R 3106・※2:JIS R 3107 に準じた計算結果)。

●表中の値は実測値および計算値を一般的数値として示したものであり、性能を保証するものではありません。

●アルゴンガスは中空層に充填したものであり、性能値は充填率85%にて算出した値です。

■ : 建材トップランナー制度目標基準値適合商品(ガラス厚さ合計10ミリ以下)

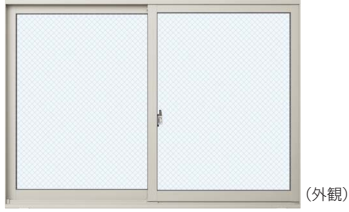
■シャッター付引違い窓のガラス性能についてはP.35をご参照ください。

■その他のガラス性能については、別途「複層ガラス」カタログをご参照ください。

引違い窓



アルミ樹脂複合

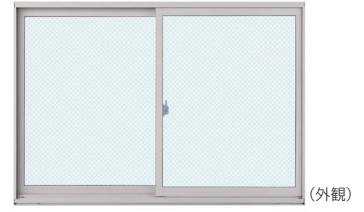


画像ナンバー：MHCE0379S



画像ナンバー：MHCE0380SB

アルミ複層



画像ナンバー：MHH20391S



画像ナンバー：MHH20383SB



画像ナンバー：MHCE0384S



画像ナンバー：MHH20395S

面格子付引違い窓



アルミ樹脂複合

アルミ複層



【たて格子】
画像ナンバー：MHH20387S



【井桁格子】
画像ナンバー：MHH20388S



【ラチス格子】
画像ナンバー：MHH20389S



【横格子】
画像ナンバー：MHH20390S

特長

アルミ樹脂複合 網入Low-E複層ガラス仕様で説明しています。

操作部品

クレセント

(空かけ防止機能付▶P.12)
障子が完全に閉まっていないとクレセントがかからないため、施錠状態が一目で確認できます。施錠後にクレセントを固定できるロック機構が付いています。



掘込引手

テラスタイプ
室外側には掘込引手が付きます。

全長引手

どの高さからでも手がかけられ、障子の開閉がしやすくなっています。



補助錠

下框にはワンタッチ式の補助錠を標準装備し、防犯面に配慮しています。



<補助錠>
外出時や就寝時には、補助錠だけでなくクレセント(窓中央部の錠)もかけてください。補助錠は、クレセントとの併用により効果を発揮します。

網戸

スライド網戸
(室外側取付)



クリアネット選択可

ご注意

- ・浴室などの高温・多湿の場所に使用の場合は、漏水防止のために“浴室用防水部品セット”を別途ご購入ください。
- ・テラスタイプは浴室などの高温・多湿の場所には使用できません。

仕様

アルミ樹脂複合

基本性能

耐風圧性	S-3
気密性	A-4
水密性	W-4
遮音性	住宅性能表示 音環境 透過損失等級 (外壁開口部) 等級3 ※住宅型式性能認定による: 網入複層ガラス使用時、耐熱強化複層ガラス使用時(テラスタイプのみ) ※試験結果による: 耐熱強化複層ガラス使用時(窓タイプのみ: 面格子付除く)

断熱性と日射熱取得率 【平成28年省エネルギー基準】
建具とガラスの組合せによる熱貫流率および日射熱取得率※1

建具の仕様	ガラスの仕様	日射熱取得率						熱貫流率 W/(m ² ·K)
		ガラスのみ		紙障子		外付けブラインド		
		日射取得型	日射遮断型	日射取得型	日射遮断型	日射取得型	日射遮断型	
木と金属の複合材料製建具又は樹脂と金属の複合材料製建具	Low-E 複層(A10以上)	0.51	0.32	0.30	0.21	0.12	0.09	2.33
	Low-E 複層(G8以上G16未満)							

※1: 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。
●【平成28年省エネルギー基準】では、上記の数値を用いた適合評価が必要です。
●一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

仕様

材質	枠・障子 [外側]アルミ押し出し形材 [内側]樹脂押し出し形材(硬質塩化ビニル)
クレセント	ポリアミド樹脂、亜鉛ダイカスト、他
戸車	樹脂、ステンレス、他
補助錠	アルミダイカスト、他
引手	テラスタイプ室外側: ステンレス、他
面格子	アルミ押し出し形材
ガラス	使用可能総厚 22mm(ガラス溝幅26mm) のみ込み 12mm

出荷形態

ガラス入完成品	枠・面格子はノックダウン
スライド網戸	組立完成品

アルミ複層

基本性能

耐風圧性	S-3
気密性	A-4
水密性	W-4
遮音性	住宅性能表示 音環境 透過損失等級 (外壁開口部) 等級3 ※試験結果による。

断熱性と日射熱取得率 【平成28年省エネルギー基準】
建具とガラスの組合せによる熱貫流率および日射熱取得率※1

建具の仕様	ガラスの仕様	日射熱取得率						熱貫流率 W/(m ² ·K)
		ガラスのみ		紙障子		外付けブラインド		
		日射取得型	日射遮断型	日射取得型	日射遮断型	日射取得型	日射遮断型	
金属製建具	Low-E 複層(A10以上)	0.51	0.32	0.30	0.21	0.12	0.09	3.49
	Low-E 複層(G8以上)							

※1: 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。
●【平成28年省エネルギー基準】では、上記の数値を用いた適合評価が必要です。
●一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

仕様

材質	枠・障子 アルミ押し出し形材 アングル 樹脂押し出し形材(硬質塩化ビニル) クレセント ポリアミド樹脂、ステンレス、他 戸車 樹脂、ステンレス、他 補助錠 アルミダイカスト、他 引手 テラスタイプ室外側: ステンレス、他
面格子	アルミ押し出し形材
ガラス	使用可能総厚 22mm(ガラス溝幅26mm) のみ込み 12mm

出荷形態

ガラス入完成品	枠・面格子はノックダウン
スライド網戸	組立完成品

引違い窓

規格サイズ一覧

アルミ樹脂複合

引違い窓・面格子付引違い窓 窓タイプ

単位:mm

呼称高	呼称幅 (旧呼称幅)			060 (2.5尺・ MM 750・ 2x4)	069 (3尺入隅・ 2x4)	074 (3尺)	078 (MM 1,000・ 2x4)	080 (7 3.14尺)	083 (MM 2,85尺・ MM 1,000)	114 (4.5尺入隅・ 2x4)	119 (4.5尺)	128 (7 4.75尺・ MM 1,500・ 2x4)	133 (MM 4.6尺・ MM 1,500)	150 (6尺入隅)	160 (6尺入隅・ 2x4)	165 (6尺)
	ROW	ROH	内法基準 サッシW サッシH	654	745	—	835	—	—	1,200	—	1,335	—	—	1,655	—
	障子枚数	600	690	740	780	805	830	1,145	1,195	1,280	1,330	1,500	1,600	1,650		
2枚建																
03	375	300	370	06003	06903	07403			08303		11903		13303			16503
05	575	500	570	06005	06905	07405	07805	08005	08305	11405	11905	12805	13305	15005	16005	16505
07	775	700	770	06007	06907	07407	07807	08007	08307	11407	11907	12807	13307	15007	16007	16507
09	975	900	970	06009	06909	07409	07809	08009	08309	11409	11909	12809	13309	15009	16009	16509
11	1,175	1,100	1,170			07411			08311	11411	11911	12811	13311	15011	16011	16511
13	1,375	1,300	1,370							11413	11913	12813	13313	15013	16013	16513

BWAS010

- : 面格子付の規格設定はありません。
- : 非常用進入口対応サイズ
- : 耐熱強化複層ガラス仕様の設定はありません。

引違い窓 テラスタイプ

単位:mm

呼称高	呼称幅 (旧呼称幅)			119 (4.5尺)	133 (MM 4.6尺・ MM 1,500)	150 (6尺入隅)	160 (6尺入隅・ 2x4)	165 (6尺)	
	ROW	ROH	内法基準 サッシW サッシH	—	—	—	1,655	—	
	障子枚数	1,195	1,330	1,500	1,600	1,650			
2枚建									
在来	18	—	1,800	1,830	11918	13318	15018	16018	16518
	20	—	2,000	2,030	11920	13320	15020	16020	16520
	22	—	2,200	2,230			15022	16022	16522
2 x 4	18	1,850	1,800	1,845 (1,860)				16018	
	20	2,050	2,000	2,045 (2,060)				16020	
	22	2,250	2,200	2,245 (2,260)				16022	

()は単純段差下枠仕様

BWAS011

- : プラットフォーム対応枠の規格設定はありません。
- : 非常用進入口対応サイズ

アルミ複層

引違い窓・面格子付引違い窓 窓タイプ

単位:mm

呼称高	呼称幅 (旧呼称幅)				窓タイプ												
					060 (2.5尺・ 750・ 2X4)	069 (3尺入隅・ 2X4)	074 (3尺)	078 (1.000・ 2X4)	080 (3.14尺)	083 (2.85尺・ 1.000)	114 (4.5尺入隅・ 2X4)	119 (4.5尺)	128 (4.75尺・ 1.500・ 2X4)	133 (4.6尺・ 1.500)	150 (6尺入隅)	160 (6尺入隅・ 2X4)	165 (6尺)
	ROW	内法基準 サッシH	内法基準 サッシW	内法基準 サッシH	654	745	—	835	—	—	1,200	—	1,335	—	—	1,655	—
ROH	内法基準	内法基準	内法基準	600	690	740	780	805	830	1,145	1,195	1,280	1,330	1,500	1,600	1,650	
障子枚数				2枚建													
03	375	300	370	06003	06903	07403			08303		11903		13303			16503	
05	575	500	570	06005	06905	07405	07805	08005	08305	11405	11905	12805	13305	15005	16005	16505	
07	775	700	770	06007	06907	07407	07807	08007	08307	11407	11907	12807	13307	15007	16007	16507	
09	975	900	970	06009	06909	07409	07809	08009	08309	11409	11909	12809	13309	15009	16009	16509	
11	1,175	1,100	1,170			07411			08311	11411	11911	12811	13311	15011	16011	16511	
13	1,375	1,300	1,370							11413	11913	12813	13313	15013	16013	16513	

BW8S001

- : 面格子付の規格設定はありません。
- : 非常用進入口対応サイズ
- : 耐熱強化複層ガラス仕様の設定はありません。

引違い窓 テラスタイプ

単位:mm

呼称高	呼称幅 (旧呼称幅)				窓タイプ				
					119 (4.5尺)	133 (4.6尺・ 1.500)	150 (6尺入隅)	160 (6尺入隅・ 2X4)	165 (6尺)
	ROW	内法基準 サッシH	内法基準 サッシW	内法基準 サッシH	—	—	—	1,655	—
ROH	内法基準	内法基準	内法基準	1,195	1,330	1,500	1,600	1,650	
障子枚数				2枚建					
在来	18	—	1,800	1,830	11918	13318	15018	16018	16518
	20	—	2,000	2,030	11920	13320	15020	16020	16520
	22	—	2,200	2,230			15022	16022	16522
2	18	1,850	1,800	1,845 (1,860)				16018	
×	20	2,050	2,000	2,045 (2,060)				16020	
4	22	2,250	2,200	2,245 (2,260)				16022	

()は単純段差下枠仕様

BW8S002

- : プラットフォーム対応枠の規格設定はありません。
- : 非常用進入口対応サイズ

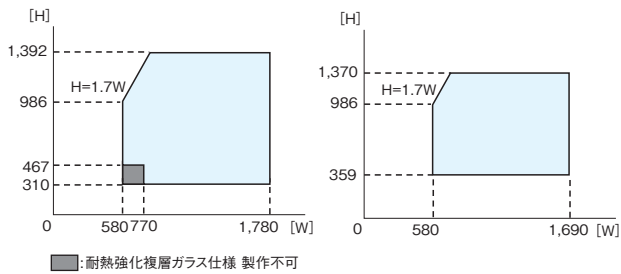
製作範囲

引違い窓

単位: mm

アルミ樹脂複合

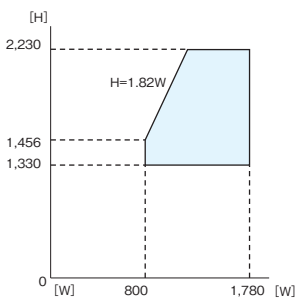
〈2枚建・窓タイプ〉
網入複層ガラス
／耐熱強化複層ガラス(単体)



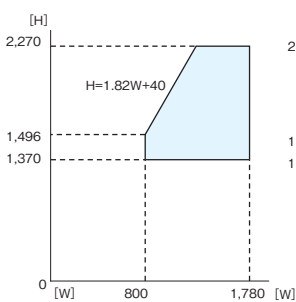
■ガラス寸法割出し公式

2枚建	
窓タイプ	$(W/2 - 65) \times (H - 147)$

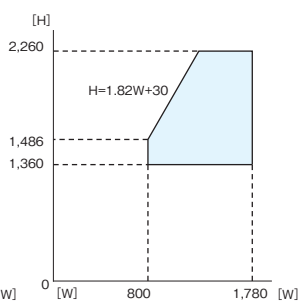
〈2枚建・テラスタイプ〉
網入複層ガラス／耐熱強化複層ガラス
在来・プラットフォーム対応枠



2×4



2×4 単純段差下枠仕様

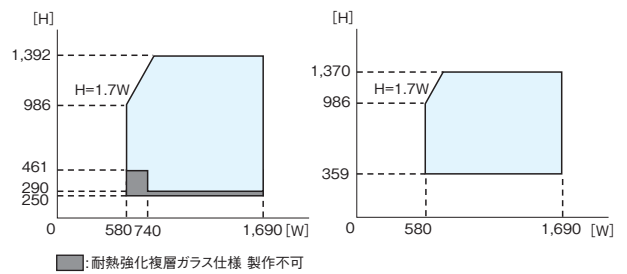


■ガラス寸法割出し公式

2枚建		
テラスタイプ	在来	$(W/2 - 90) \times (H - 122)$
	在来 プラットフォーム対応枠	
	2×4	$(W/2 - 90) \times (H - 162)$
	2×4 単純段差下枠仕様	$(W/2 - 90) \times (H - 152)$

アルミ複層

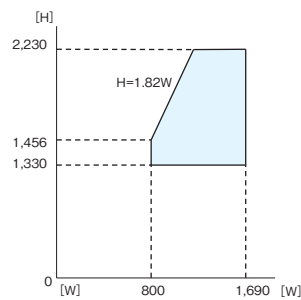
〈2枚建・窓タイプ〉
網入複層ガラス／
耐熱強化複層ガラス(単体)



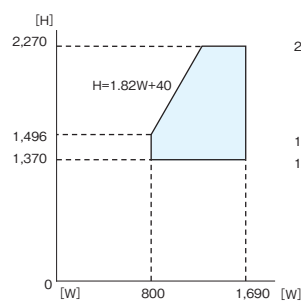
■ガラス寸法割出し公式

2枚建	
窓タイプ	$(W/2 - 50) \times (H - 141)$

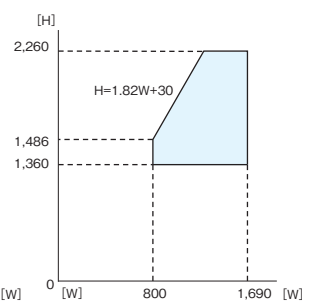
〈2枚建・テラスタイプ〉
網入複層ガラス／耐熱強化複層ガラス
在来・プラットフォーム対応枠



2×4



2×4 単純段差下枠仕様



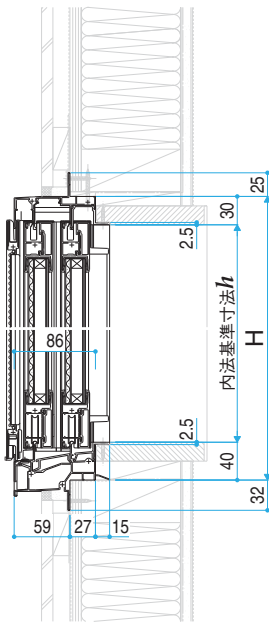
■ガラス寸法割出し公式

2枚建		
テラスタイプ	在来	$(W/2 - 80) \times (H - 122)$
	在来 プラットフォーム対応枠	
	2×4	$(W/2 - 80) \times (H - 162)$
	2×4 単純段差下枠仕様	$(W/2 - 80) \times (H - 152)$

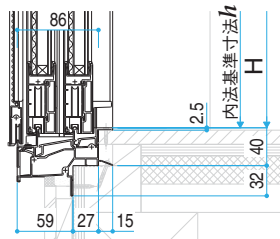
アルミ樹脂複合

■引違い窓

●窓タイプ

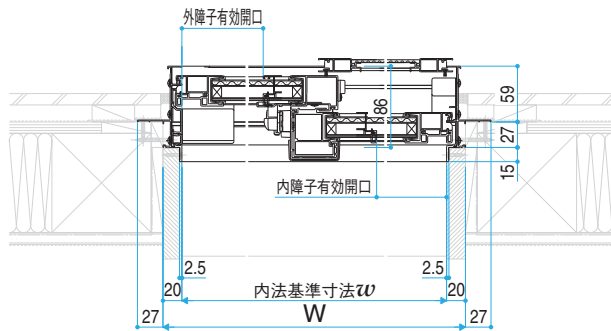


●テラスタイプ 下部

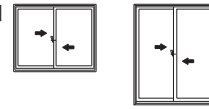


窓タイプ	外障子有効開口	内障子有効開口
テラスタイプ	W/2-74	W/2-109
テラスタイプ	W/2-84	W/2-119

通気水切(別途)



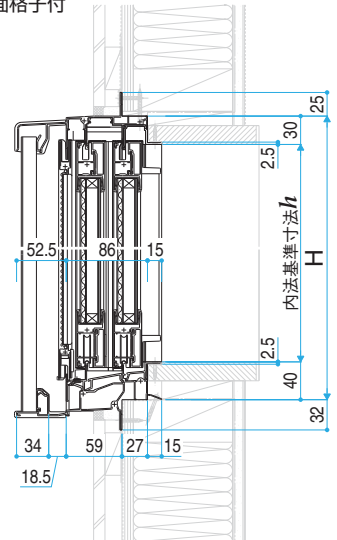
内観姿図



外観姿図

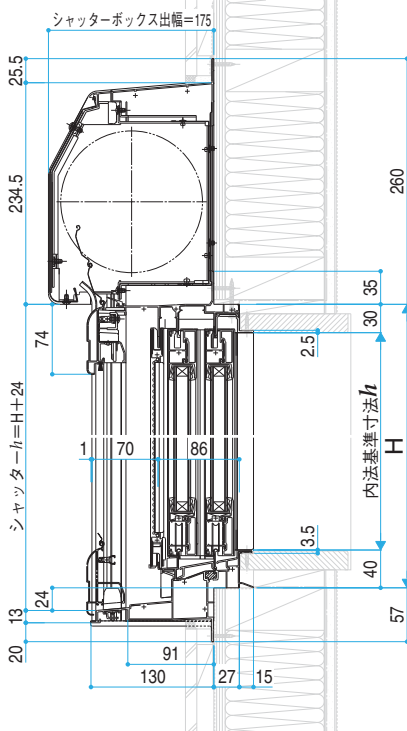


●面格子付

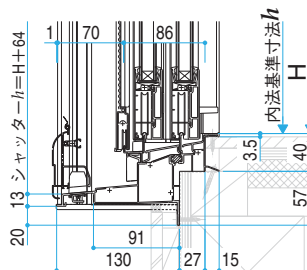


■シャッター付引違い窓

●窓タイプ

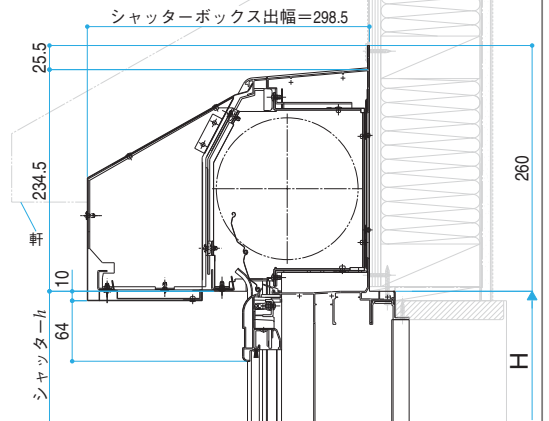


●テラスタイプ 下部



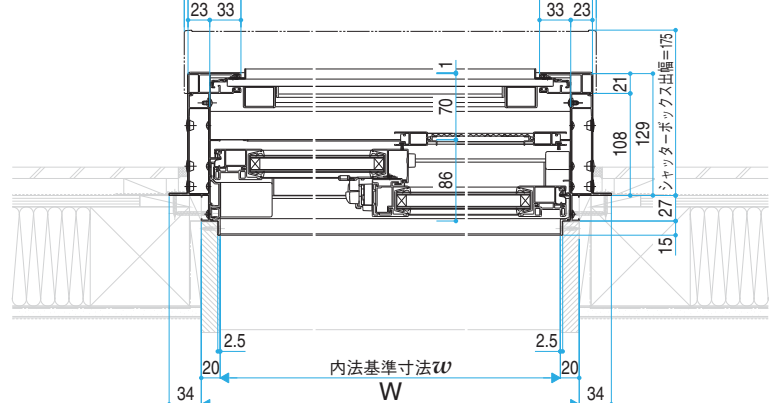
通気水切(別途)

●軒天納まり



シャッターボックス幅=W+36

シャッターw=W-84



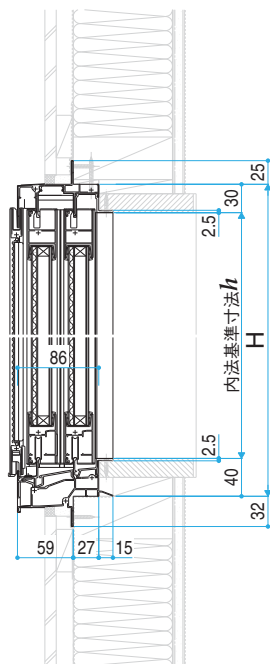
シャッターボックス出幅=175

縮尺 1/8 単位:mm

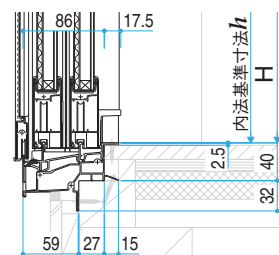
アルミ複層

■引違い窓

●窓タイプ

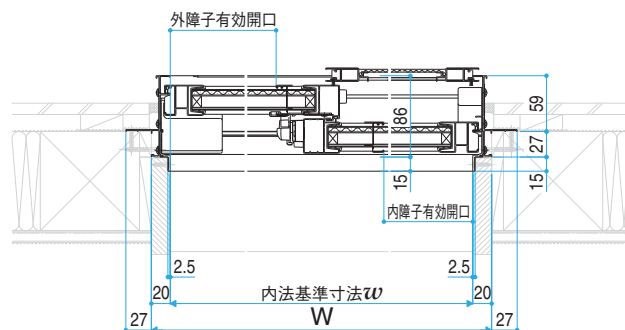


●テラスタイプ 下部



窓タイプ	外障子有効開口	内障子有効開口
テラスタイプ	W/2-68	W/2-103
テラスタイプ	W/2-74	W/2-109

通気水切(別途)



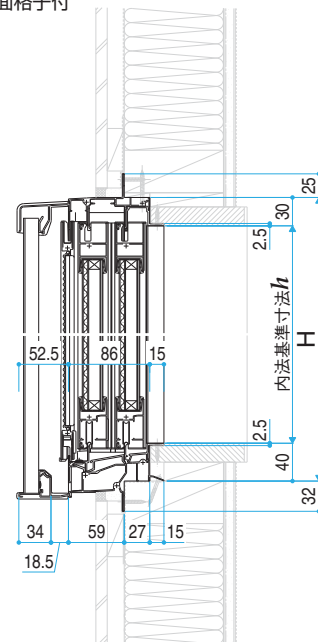
内観姿図



外観姿図

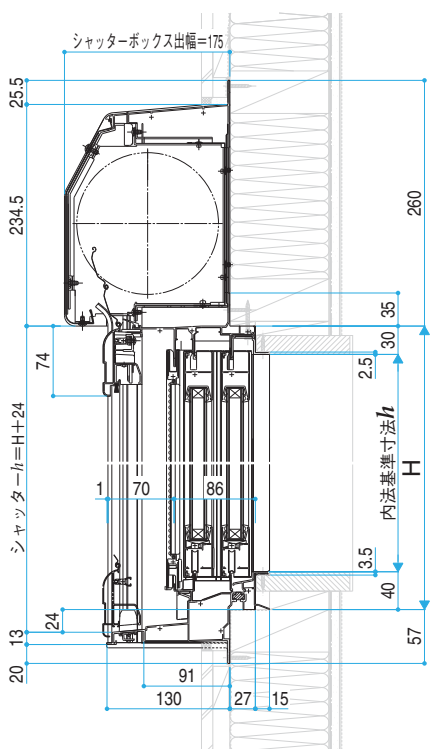


●面格子付

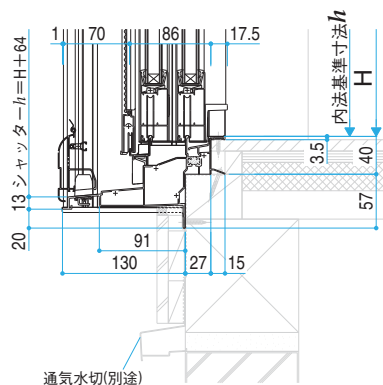


■シャッター付引違い窓

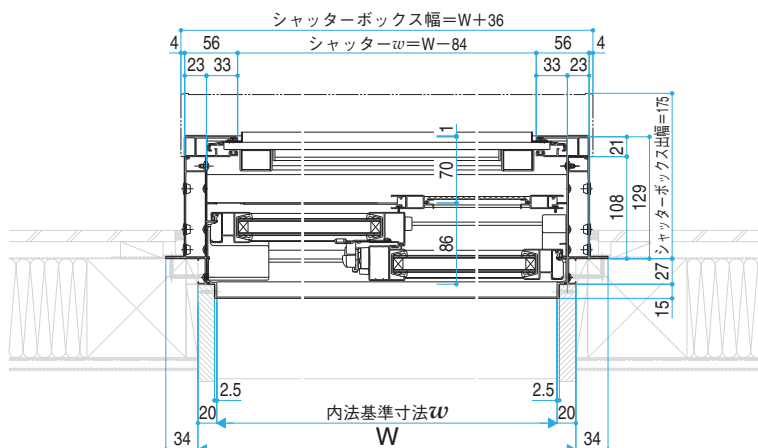
●窓タイプ



●テラスタイプ 下部



通気水切(別途)



外観姿図



耐熱強化複層ガラス

耐熱強化複層ガラスを安全にお使いいただくために

使用上のご注意

●〈耐熱強化ガラス〉は強度が高く、万が一割れても破片が細かい粒状となる安全性の高いガラスですが、割れた際に破片が脱落することがあります。

また、一般の板ガラスとは異なる“ガラス中に含まれる不純物に起因する傷”による不意の破損などの独特な性質をもっています。

このようなガラス割れ性状や不意の破損などの特性を十分ご理解いただき、ご採用にあたっては使用部位や高さ、その他の安全対策などにつきまして十分にご配慮をお願いします。

【破損の際の特徴】

●〈耐熱強化ガラス〉は、表面に圧縮応力層があり、内部にそれとバランスした引張応力層があります。破損時には、ガラス表面のバランスが崩れ、一瞬にしてガラスの全面が細かく粒状に破損します。施工の状況によっては破損時にガラスが脱落することがあります。

●通常、破片は粒状に砕けますが、破砕しても粒が離れずに破片の塊になることもあります。また破損時には音を伴う場合があります。

【破損の原因】

●〈耐熱強化ガラス〉の一般的な破損原因は、下記の3点が考えられます。

- ①飛来物や地震など、外部から強い力が加わった場合
- ②小さく鋭い傷が、ガラス表面に付いた場合
- ③ガラスの中に存在する微細な不純物があった場合

●〈耐熱強化ガラス〉の特徴として、ガラスの内部の引張応力層に傷が発生・到達した場合に応力バランスが崩れ、外力が加わっていない状態で不意に破損することがあります。

【被害発生の可能性】

●ガラスが破損した場合、ガラスの粒状の破片が落下し、落下した破片の塊が、人や車などに当たったりすることがあります。破片の塊の大きさによっては人にケガを負わせたり、場合によっては命に関わる事故になるおそれがあります。

●【被害発生の回避措置】

～〈耐熱強化ガラス〉の破損、及び破片が

飛散した際に被害を回避するための当社推奨基準～
当社では、〈耐熱強化複層ガラス〉を安全にご使用いただくために、ご使用いただける高さなどに推奨基準を設けています。

〈耐熱強化複層ガラス〉は必ず垂直に施工していただき、ガラスの上端から、床面や地上面などガラス破損時の破片が到達するところまでの高さ（距離）は右表を参考として施工してください。

ガラスが破損して脱落したときに人がケガをするおそれがある場合や、破損時に人が転落する危険性がある場合には、万が一のガラスの破損に対する飛散防止措置を必ずおとりください。

〈耐熱強化複層ガラス〉を安全にご使用いただくために、ガラス破片の飛散防止措置などに関する推奨基準は右表をご参照願います。

●推奨基準

〈耐熱強化複層ガラス〉をご採用になる場合は、右表をご参照のうえ、以下の注意事項を必ずお守りください。

■高所に使用する場合

地上または床面（歩行面）からガラス上端部までの高さが右表を超える場合や、ガラス破損時に脱落したガラスで人がケガをするおそれがある場合、破損時に人が転落する危険性がある場合には、施工法に応じた飛散防止措置を必ず講じてください。

■飛散防止フィルムについて

飛散防止フィルムは、ガラスが破損した際の飛散を一時的に防止するためのものです。

破損した場合、外力が加わるとガラス片が塊となって落下するおそれがありますので、日常の点検で破損の確認が必要です。また、効果を維持するには、定期的に張り替える必要があります。

防火窓G シリーズ耐熱強化複層ガラス仕様に飛散防止フィルムを使用される場合は、必ず、以下の仕様としてください。

- ・フィルム基材厚さ50 μ m以下
※全厚ではなく基材厚をご確認ください。
- ・屋外施工可能なフィルム
※室内側面にはフィルムを使用しないでください。
- ・粘着剤：アクリル系粘着剤
質量：40g/m²以下

(例)

商品名	材質	フィルム厚(μm)		屋外側施工
		全厚	基材厚	
スリーエムジャパン株式会社 SH2CLARX	PET*	85	50	可
リンテック株式会社 ルミクール 1501E	PET*	75	50	可

* PET：ポリエチレンテレフタレート系樹脂フィルム

* 全厚：フィルム基材の厚さ+粘着剤の厚さを示します

* 詳細は各社にお問い合わせください。

(お問い合わせの際にはYKK AP 防火窓G シリーズ耐熱強化ガラス仕様を利用する旨をお伝えください)

- ・スリーエムジャパン株式会社
カスタマーコールセンター：0570-012-123
- ・リンテック株式会社
ウィンドーフィルム営業部：03-3868-7733

■設置の位置

防火窓G シリーズ耐熱強化複層ガラス仕様を設置する場合は、地上（歩行面）からガラス上端部までの高さは下表を参考としてください。

商品名	施工の状態	飛散防止措置をせずにご使用いただける範囲
耐熱強化ガラス (呼び厚さ5ミリ)	四辺がサッシ枠や障子にのみ込まれ、シーリング材またはグレイジングチャンネルによる施工	地上または床面（歩行面）からガラス上端部までの高さが16m以下
耐熱強化ガラス (呼び厚さ6ミリ以上)		地上または床面（歩行面）からガラス上端部までの高さが3m以下

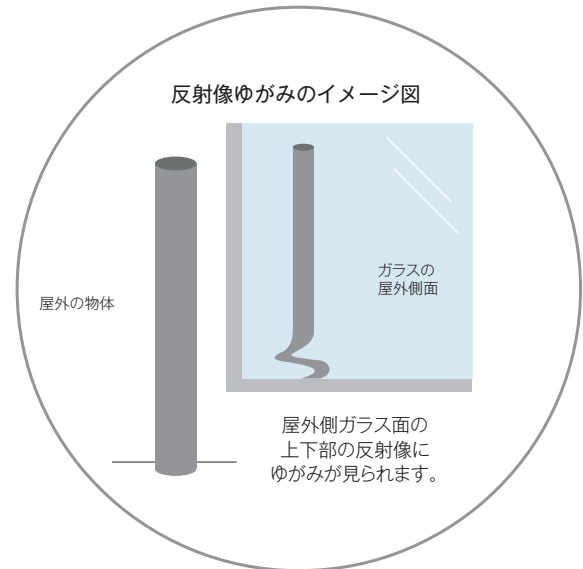
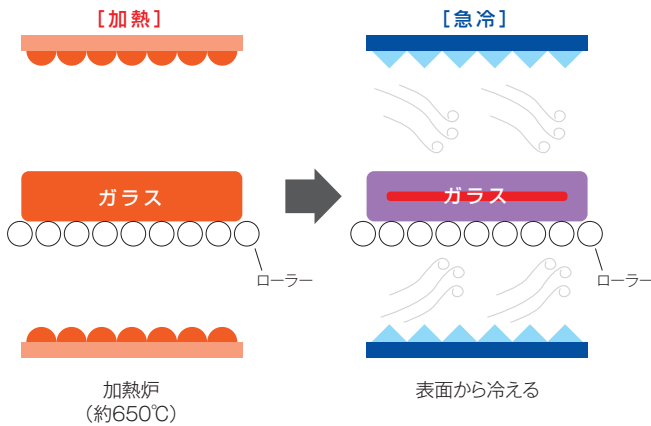
※防火窓G シリーズ耐熱強化ガラス仕様では引違い窓テラスタイプはアルミ樹脂複合、アルミ複層ともに6ミリ耐熱強化ガラスの構成となりますので地上または床面からガラス上端部までの高さが3m以下の箇所に設置してください。

※安全性の面から、飛散防止をせずにご使用いただける範囲内であっても、建築用途や使用部位、周辺の状況に応じて飛散防止措置を講じることをおすすめします。

■反射映像のゆがみについて

「強化ガラス」、「耐熱強化ガラス」などの熱処理によって製造されるガラスは、高温加熱後、急冷することにより強度をあげています。この製造過程により、通常の板ガラスに比べ、反射映像のゆがみが大きくなります。

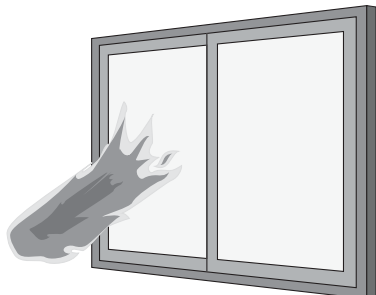
●ガラスの熱処理（製造工程）イメージ



防火性とは

防火性とは建築物の火災に対する安全性のレベルを表す性能です。建築基準法、建築基準法施行令、関係告示等で詳細に規制されています。

なかでも、耐火建築物、準耐火建築物や防火地域または準防火地域にある建築物の外壁で、延焼のおそれのある部分の開口部については、炎を遮り延焼を防止するために、「防火設備」(防火戸)の使用が義務づけられています。



防火設備の種類

防火設備には、使用の目的と場所によって次の種類があります。

● 特定防火設備

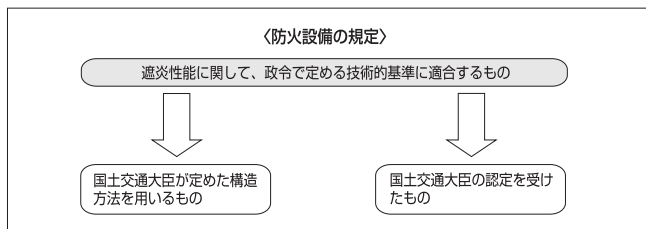
火災の拡大を防止するものであり、防火区画や防火壁の開口部、外壁の開口部、避難階段の出入口部分などに用いられています。

● 防火設備(防火戸)

主として、開口部の延焼防止を目的として、防火区画の一部や外壁の開口部などに用いられています。

防火設備の規定

防火設備は、政令で定める技術的基準に適合するもので、国土交通大臣が定めた構造方法を用いるか、国土交通大臣の認定を受ける必要があります。



防火設備の技術的基準

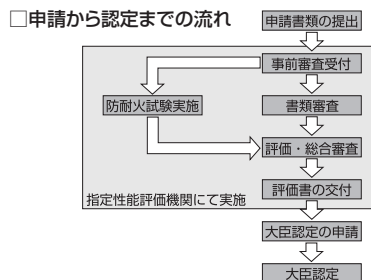
防火設備は、建築基準法および建築基準法施行令により、その性能についての技術的基準が規定されています。

種類	防火設備		
	特定防火設備	防火設備	
大臣認定コード	EA	EB	EC
要件	加熱面以外の面に火炎を出さない	加熱面以外の面に火炎を出さない	加熱面以外の面に火炎を出さない
遮炎時間	1時間	20分間	20分間
火災の種類	建築物の屋内または周囲で発生する通常の火災	建築物の屋内または周囲で発生する通常の火災	建築物の周囲で発生する通常の火災
性能	遮炎性能	遮炎性能	準遮炎性能
主な設置場所	防火区画	耐火建築物または準耐火建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分	防火地域または準防火地域内の建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分
関係法令	令第112条第1項	法第2条第九号二/口 令第109条の2	法第64条 令第136条の2の3

防火設備の認定

防火設備についての国土交通大臣の認定を受けるためには、指定性能評価機関*において防耐火試験を実施し、事前評価を受けることが必要です。

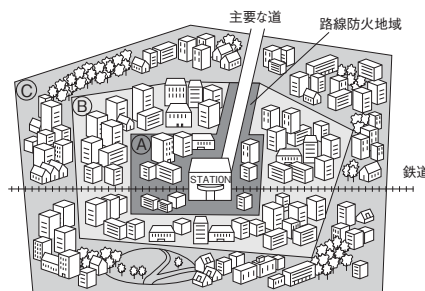
*指定性能評価機関とは、国土交通大臣認定の事前評価を実施する機関で、原則として試験と評価の両方を実施します。



防火性に関する法規

● 防火地域と準防火地域

都市計画法第9条に、市街地における火災の危険を防除するため、防火地域と準防火地域が定められています。



市街地の火災を防除するために各市町村で下記の種類の地域が定められています。(凡例)

- A 防火地域** 町の中心部、主として商業地域に指定されることが多い。
- B 準防火地域** 防火地域をとりまき、比較的防火上重要な地域が指定されます。
- C 法22条指定区域** 都市計画区域内外にわたり指定されている準防火地域を囲むように指定されています。

防火地域、準防火地域および指定区域における建築物の基準が下表のように定められています。

防火地域 (法第61条)	防火地域内においては、階数が3以上であり、または延べ面積が100㎡を超える建築物は耐火建築物とし、その他の建築物は原則として耐火建築物または準耐火建築物としなければなりません。
準防火地域 (法第62条)	準防火地域内においては、地階を除く階数が4以上である建築物または延べ面積が1,500㎡を超える建築物は耐火建築物とし、延べ面積が500㎡を超え1,500㎡以下の建築物は耐火建築物または準耐火建築物としなければなりません。また、地階を除く階数が3である建築物は耐火建築物、準耐火建築物または外壁の開口部の構造および面積、主要構造部の防火の措置その他の事項について防火上必要な政令で定める技術的基準に適合する建築物としなければなりません。
法22条指定区域 (法第22・23条)	防火地域または準防火地域以外の市街地で、特定行政庁が指定する区域において、屋根を準不燃性能*、外壁で延焼のおそれのある部分を準防火性能のある構造とするなどの規制があります。
その他の区域 (大規模木造建築物等) (法第25・26条)	延べ面積が1,000㎡を超える木造建築物等については、外壁や軒で延焼のおそれのある部分を防火構造とし、屋根を準不燃性能*のある構造とするほか、防火壁によって床面積1,000㎡ごとに区画するなどの規制があります。
建築物が異なる地域にまたがる場合 (法第67条)	建築物が防火地域または準防火地域とこれらの地域として指定されていない区域をまたがる場合は、その全部についてそれぞれ防火地域または準防火地域の規定が適用されます。また、防火地域と準防火地域をまたがる場合は、防火地域の規定が適用されます。原則として、厳しい方の地域の規制を受けます。

* ここでいう「準不燃性能」とは、「通常の火災を想定した火の粉による建築物の火災の発生を防止するために屋根に必要とされる性能(法第22条)」のごとく、その技術的基準は令第109条の5に定められています。

防火地域内または準防火地域内の規定は原則として先の表のとおりですが、建築物の規模によって以下のように定められています。

①防火地域内の建築物(法第61条)

		延べ面積		
		50m ² 以下の附属建築物	50m ² 超100m ² 以下	100m ² 超
階数(地階を除く)	3以上	耐火建築物		
	2	耐火建築物 または 準耐火建築物		
	1	木造建築物(防火構造)も可	耐火建築物 または 準耐火建築物	

②準防火地域内の建築物(法第62条第1項)

		延べ面積		
		500m ² 以下	500m ² 超1,500m ² 以下	1,500m ² 超
階数(地階を除く)	4以上	耐火建築物		
	3	耐火建築物・準耐火建築物 または技術基準*適合建築物	耐火建築物 または 準耐火建築物	
	2または1	木造建築物(防火構造)も可	耐火建築物 または 準耐火建築物	

* 技術基準のうち、隣地境界線等から水平距離が1m以下の部分の開口部に設ける防火設備については、以下のいずれかの構造とする必要があります。(令第136条の2第一号)

- ① 常時閉鎖式であるもの
- ② 随時閉鎖でき、かつ火災を感知して自動的に閉鎖するもの
- ③ はめ殺し戸である防火設備
ただし、換気孔または居室以外の室に設ける換気窓で、開口面積が各々0.2m²以内のものを除く。

●耐火建築物と準耐火建築物

建築基準法で、耐火および準耐火建築物はそれぞれ以下のように定められています。

耐火建築物

主要構造部を耐火構造等とした建築物で、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、政令で定める遮炎性能を有する防火設備を設けたものをいう。(法第2条第九号の二/ロ)

準耐火建築物

耐火建築物以外の建築物で、主要構造部を準耐火構造とするか、または準耐火構造と同等の準耐火性能を有するとして政令で定める技術的基準に適合するものとし、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、政令で定める遮炎性能を有する防火設備を設けたものをいう。(法第2条第九号の三)

●防火設備の必要な外壁の開口部

外壁の延焼のおそれのある部分で、防火設備を使用しなければならない開口部は下記のとおりです。

対象建築物	対象部位	防火設備の種類	法令
耐火建築物	外壁の開口部で延焼のおそれのある部分	遮炎性能を有する防火設備	法第2条第九号の二/ロ 令第109条の2
準耐火建築物			法第2条第九号の三 令第109条の2
防火地域内または準防火地域内の建築物		準遮炎性能を有する防火設備	法第64条 令第136条の2の3

●延焼のおそれのある部分

- イ. 隣地境界線、道路中心線から1階で3m以下、2階以上では5m以下の距離にある建築物の部分
- ロ. 同一敷地内に2以上の建築物(延べ面積の合計が500m²以内の建築物では、1棟とみなされる)があるときは相互の外壁間の中心から、1階で3m以下、2階以上では5m以下の距離にある建築物の部分

